永瀬　美智子 教授

◆経　　歴

昭和54年３月　新潟大学人文学部文学科　卒業（文学士）
昭和54年４月　御茶の水女子大学大学院人文科学研究科英米文学専攻　入学
昭和57年３月　御茶の水女子大学大学院人文科学研究科英米文学専攻　修了（文学修士）
昭和57年４月　筑波大学大学院博士後期課程各国文学専攻３年次編入学
昭和62年３月　筑波大学大学院博士課程３年次単位取得満期退学
昭和60年４月　国士舘大学非常勤講師（至昭和63年３月）
　　　　　　　東京理科大学非常勤講師（至平成４年３月）
昭和62年４月　日本学術振興会特別研究員（至平成元年３月）
　　　　　　　東海大学非常勤講師（至平成11年３月）
昭和63年４月　東洋女子短期大学非常勤講師（至平成11年３月）
平成８年４月　東京家政大学非常勤講師（至平成11年３月）
平成９年４月　大妻女子大学非常勤講師（至平成11年３月）
平成11年４月　愛知大学文学部助教授
平成18年４月　愛知大学文学部教授（令和８年３月まで）

教 育 研 究 業 績 書

著書，学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所，発表雑誌等又は発表学会等の名称
(著書)			
1.『トニ・モリソン研究(1)』	単著	2005年９月	私家版
2.『〈法〉と〈生〉から見るアメリカ文学』	共著	2017年３月	悠書館 「第18章　トニ・モリスンの『パラダイス』における「法」と「生」
3.『ソール・ベローともう一人の作家』	共著	2019年８月	彩流社 「第10章　ソール・ベローとトニ・モリスンの男性像——『この日をつかめ』と『ソロモンの歌』の〈恰好悪い男〉比較
(学術論文)			
1. “A Decent into the Vortex of Mind: A Study of Melville’s Three Major Novvels	単著	1982年１月	修士論文　お茶の水女子大学大学院
2. 魂の洞窟へ——「マーディ」考	単著	1982年９月	『えちゅーど』第12号　お茶の水女子大学大学院
3. 肖像画の語ること——『ピエール』についての一考察	単著	1983年12月	『シュンポシオン』第３号　シュンポシオン同人（筑波大学文芸・言語学系）
4. 仮面の行方——『詐欺師・その仮装』論	単著	1984年７月	『アメリカ文学評論』第６号　筑波大学・東京教育大学アメリカ文学研究会
5. 芸術家と技術者——メルヴィルの「鐘塔」考	単著	1984年12月	『シュンポシオン』第４号　シュンポシオン同人（筑波大学文芸・言語学系）
6. 実話とロマンス——「ベニト・セレノ」について	単著	1985年４月	*American Literature Tsukuba* 創刊号　筑波大学大学院アメリカ文学研究会
7. コスモポリタン登場——「詐欺師・その仮装」論	単著	1985年８月	*Otsuka Review*第21号　大塚英文学会
8. 笑いの効用——「ぼくの縁者モリヌー少佐」論	単著	1986年８月	『アメリカ文学評論』第８号会　筑波大学アメリカ文学会
9. 語り手の役割——「バートルビー」について	単著	1987年１月	*American Literature Tsukuba*第２号　筑波大学大学院アメリカ文学研究会
10.『ビリー・バッド』における「はみ出した事実」について	単著	1987年12月	『シュンポシオン』第７号　シュンポシオン同人（筑波大学文芸・言語学系）
11. 日常の解体——「若きグッドマン・ブラウン」について	単著	1989年７月	『アメリカ文学評論』第10号　筑波大学アメリカ文学会
12. 緋文字Ａを「読む」	単著	1990年５月	*American Literature Tsukuba*第４号　筑波大学大学院アメリカ文学研究会
13. 自己喪失と無秩序の悪夢——「ウェイクフィールド」論	単著	1993年３月	『アメリカ文学評論』第12号　筑波大学アメリカ文学会
14. 変化が生む永続の意味—— *Sula* 論	単著	1997年６月	『アメリカ文学』第58号　日本アメリカ文学会東京支部会報
15. ヒーロー（英雄）の条件—— *Song of Solomon* 論	単著	2000年12月	『アメリカ文学評論』第17号　筑波大学アメリカ文学会

著書，学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所，発表雑誌等又は発表学会等の名称
16. 騙し絵の構図―― Toni Morrison 作 *The Bluest Eye* 試論	単著	2001年３月	『愛知大学英文会文集』愛知大学英文科創設50周年記念号　愛知大學英文会
17. コミュニティの変遷―― Twain から Anderson, そして Hemingway へ	単著	2002年３月	『英文会誌』第１号　愛知大學英文会
18. Jadine が選択したもの―― Toni Morrison *Tar Baby* 論	単著	2003年２月	『文学論叢』第127輯　愛知大學文学会
19. 小説の中の女性像	単著	2003年３月	『英文会誌』第２号　愛知大學英文会
20. 小説の味わい方	単著	2003年11月	『英文会誌』第３号　愛知大學英文会
21.「笑い」を巡って	単著	2004年３月	『英文会誌』第４号　愛知大學英文会
22.「伝統」との葛藤―― Toni Morrison の *Tar Baby* 試論	単著	2004年11月	『英文会誌』第５号　愛知大學英文会
23. 女たちの共同体―― Alice Walker *The Color Purple* について	単著	2005年３月	『英文会誌』第６号　愛知大學英文会
24. 記号（シーニュ）を読む	単著	2005年11月	『英文会誌』第７号　愛知大學英文会
25. アメリカの夢―― *The Wonderful Wizard of Oz* について	単著	2006年３月	『英文会誌』第８号　愛知大學英文会
26. 奴隷制について語られなかったこと―― *Beloved* が伝える “unspeakable Stories, unspoken”	単著	2006年11月	『英文会誌』第９号　愛知大學英文会
27. Beloved の両義性―― *Beloved* 論(1)	単著	2007年２月	『文學論叢』135号　愛知大学文学会
28. 均衡を求めて―― The Earthsea Cycle について	単著	2007年３月	『英文会誌』第10号　愛知大學英文会
29. *The Adventures of Huckleberry Finn* が描くアメリカ	単著	2007年11月	『英文会誌』第11号　愛知大學英文会
30. トニ・モリソンの *Jazz* について	単著	2008年３月	『英文会誌』第12号　愛知大學英文会
31.『アンクル・トムの小屋』について	単著	2009年３月	『英文会誌』第13・14号合併号　愛知大學英文会
32. 人らしい生き方―― *Fahrenheit 451* について	単著	2011年３月	『英文会誌』第16号　愛知大學英文会
33. 人らしい生き方(2)―― *Do Androids Dream of electric sheep?* について	単著	2012年３月	『英文会誌』第17号　愛知大學英文会
34. Walt Disney の *Snow White and the Seven Dwarfs* に見るアメリカ	単著	2012年８月	『FOCUS』第23号　愛知大学英米文学研究会
35. 映画に見るアメリカン・ドリームの現実の光と影	単著	2013年3月	『英文会誌』第18号　愛知大學英文会
36. 語ること，その効用―― Toni Morrison の *Jazz* について	単著	2014年３月	『英文会誌』第19号　愛知大學英文会
37. ことばが意味すること―― Toni Morrison *Beloved* について(2)	単著	2015年２月	『文學論叢』第151輯　愛知大学文学会
38. 映画に投影するアメリカを読む――1980年代・90年代	単著	2016年１月	『言語と文化』第34号　愛知大学語学教育研究室
39. *Alien* シリーズに見る女性と時代	単著	2021年３月	『言語と文化』第44号　愛知大学語学教育研究室
40.「人間とアンドロイドの境界―― Blade Runner が語ること」	単著	2023年１月	『言語と文化』第47号　愛知大学語学教育研究室

（学会発表）

1. H. Melville の *Pierre* について	単独	1981年１月	新潟大学英文学会
2. *The Scarlet Letter* における《テクスト》と《読み》	単独	1987年10月	第26回日本アメリカ文学会全国大会

著書，学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所，発表雑誌等又は発表学会等の名称
3. ヒーロー（英雄）の条件―― *Song of Solomon* 論	単独	1999年11月	中部アメリカ文学会　1999年11月例会
4. 物語の集成，そして散逸―― Beloved について	単独	2006年11月	中部アメリカ文学会例会（於　中京大学）
5. Saul Bellow と Toni Morrison	単独	2018年９月	第30回日本ソール・ベロー協会大会
6. Chimamanda Ngozi Adichie “Imitation” について	単独	2018年12月	日本アメリカ文学会中部支部読書会（於　南山大学）
7. シンポジウム――アメリカ文学と映画表象	共同	2021年10月	日本英文学会中部支部　第73回大会
（講演）			
1. マーク・トウェインの『ハックルベリー・フィンの冒険』に描かれたアメリカ	単独	2007年10月	平成19年度吉良町生涯学習講座「愛知大学オープンカレッジ」
2. マーク・トウェインの『ハックルベリー・フィンの冒険』に描かれたアメリカ	単独	2008年９月	2008年度豊橋市民トラム　愛知大學連携講座「世界の名作を学ぶ」
（書評）			
1. Charles Caramelo, *Silverless Mirror* ――ポストモダニズムにおける「本」と「作家の自我」について	単著	1985年９月	『アメリカ文学評論』第７号　筑波大学アメリカ文学会
2. 松本昇，君塚淳一，鵜殿えりか編『ハーストン，ウォーカー，モリスン――アフリカ系アメリカ人女性作家をつなぐ点と線』	単著	2008年３月	『中部アメリカ文学』第11号　日本アメリカ文学会中部支部
3. 鵜殿えりか著『トニ・モリスンの小説』	単著	2016年３月	『中部アメリカ文学』第19号　日本アメリカ文学会中部支部
4. *The Timeless Toni Morrison: The Past and the Present in Toni Morrison’s Fiction* について	単著	2019年１月	『中部英文学』第38号　日本英文学会
（その他）			
1. 日本における『アーサー・ゴードン・ピムの物語』研究書誌 ～1981年		1984年３月	『アメリカ文学評論』第５号　筑波大学アメリカ文学会